

様式第1号(第6条関係)

アイデア提案書

提案番号			
提出年月日	令和7年1月15日	受付年月日	令和 年 月 日
所 属	チームC	職名・氏名	
提 案 件 名	スポーツツーリズムの推進によるチオビタ運動公園の利用拡大及び地域の賑わい創出		
提案の要件	☒ 市民サービスの向上に役立つもの ☐ 事務能率が向上するもの ☒ 経費の節減・収入の増加に資するもの ☐ 行政事務運営の革新となるもの ☒ 本市のイメージアップに係るもの ☐ その他公益上有効であるもの		
関係部署	文化スポーツ振興課、産業振興課、観光振興課		
現状及び問題点	(実施の必要性について具体的に) チオビタ運動公園は、西日本最大級のテニスセンターをはじめ、多目的競技場（総合陸上競技場兼サッカー場）、多目的広場（野球場）、温水プールを備える複合型体育施設である。 年間利用者のほとんどは日帰りの県内利用者であるため、施設利用以外の消費行動が起こりづらく、また施設周辺に飲食店や宿泊施設がないことが拍車をかけている。 合宿等の宿泊を伴う利用は、全体のごく一部であるが、利用者に最も訴求できるテニスセンターは県テニス協会が年間を通じて、大会及びその予備日として一年前から予約されており、新たな団体の利用を拡充することは困難である。 その他の施設については、陸上競技場兼サッカー場は、陸上トラック及び陸上競技関連備品については競技利用相応の設備となっているが、サッカー場は芝生の状況が不良で競技利用に適していない。また、多目的広場はフェンスやバックスクリーンがないことで硬式野球利用が難しく、鹿による芝生の食害及び糞の汚染が広がり利用を妨げている。		
提案の内容	(実施の方法について具体的に) 1. スポーツツーリズム推進団体の立ち上げ及び施設利用者向けソフト事業実施 市内宿泊施設等を含むスポーツツーリズム推進団体「備前市スポーツコミッション（仮称）」を立ち上げ、合宿利用等の窓口一元化、滞在プラン提示、滞在中の送迎幹旋、県外スポーツ団体及び学校等への誘致活動等を担う。※スポーツ庁スポーツ振興費補助金 また、合宿等実施場所を他自治体から切り替えてもらうインセンティブとして、宿泊費やバス利用費補助等のソフト事業を効果的に展開する。		

	2. 各スポーツ協会等との合意形成 県テニス協会や市陸上連盟等、チオビタ運動公園の大口利用団体と合意形成し、合宿等で施設を優先利用できる体制を構築する。 3. 既存施設整備 合宿等の候補地となるには、良好な競技施設が不可欠であるため、芝生等既存設備の適正な整備のほか、獣害及び飛球防護のフェンス等既存施設の改修を考えていかなければならない。また、飲食施設がない状況を改善するため、駐車場の一部をRVパーク化し、大会等の際にはキッチンカーが出店し飲食提供するほか、非常時には避難場所としての利用もできるように改修する。
期待される効果	(効果について数量等を具体的に) 1. スポーツツーリズム＝備前市という認知獲得による加速度的誘致 備前市スポーツコミッション（仮称）により合宿誘致が増加することで、合宿・スポーツツーリズムといえは備前市という認知を獲得し、年数を重ねるほどに更なるスポーツツーリズム誘致を図ることができる。 2. 利用団体数の増加 令和5年度5団体250人の合宿利用を、3年後には年間20団体1000人とし、10年後には100団体25,000人を目指す。 ※愛媛県西条市合宿都市構想 30～40団体/年 和歌山県上富田町スポーツセンター 延べ7,815泊/年 大阪府堺市J-グリーン堺 延べ36,000泊/年 3. 滞在による市内経済活性化 県外からの合宿利用増により、市内での消費行動を促進する。 ・市内宿泊：1,000万円（1,000人×10,000円/人/泊） ・施設内飲食：200万円（1,000人×1,000円×2回） ・お土産等：500万円（1,000人×5,000円） 4. プロスポーツキャンプ等誘致による市民スポーツの活性化 体育施設及び近隣宿泊施設等の利用増により施設整備が進み、プロスポーツキャンプ等誘致の可能性が高まる。プロスポーツキャンプの実施により、市民スポーツ団体との交流やスポーツ教室を通じた普及等、スポーツ関連活動が充実し、市民の競技レベル向上、健康増進、シビックプライド醸成を図ることができる。

※「提案番号」「受付年月日」の欄は、記入不要です。

※「職名・氏名」「提案の要件」の欄は、該当するものに「☒」してください。

※ 共同提案は、代表者以外の「所属」「職種」「氏名」を別添してください。